

平成28年度(2016年度)

管理事業名	総合運動場事業			総合計画の体系	第4章 個性が光る学びと文化創造のまちづくり 第3節 スポーツに親しめるまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費 (目) 38 総合運動場費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
総合運動場管理事業					
事業の目的と概要					
指定管理者制度において、総合運動場の管理・運営を行うとともに、安全な施設の整備に努め、健全なスポーツ活動の場を提供します。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
施設利用者数、目標利用者数 124,147人	人	113,415	109,628	116,804	個人使用・専用使用・大会等の利用者数
総合運動場使用料収入額	千円	8,427	8,560	6,518	使用料収入決算額
成果の説明	平成28年度(2016年度)から施設使用料の改定により、専用使用料は引き下げとなり、個人使用においては利用区分をなくし、開場時間のなかで低料金で、いつでも利用できる時間制に変更しました。 平成28年度(2016年度)の利用者数は、平成27年度(2015年度)比7,176人(6.5%)、平成26年度(2015年度)比3,389人(3.0%)増加しました。 また使用料収入は、平成27年度比2,042千円(23.9%)、平成26年度は1,909千円(22.7%)減少しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	8,427	8,560	6,518	△2,041
経常収入	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	211	269	446	177
経常収入 小計(a)	8,639	8,829	6,964	△1,865
給与関係費	1,925	2,699	6,230	3,531
物件費	91,872	91,049	93,989	2,941
維持補修費	-	680	2,344	1,663
社会保障扶助費	-	-	-	-
経常費用	-	38	63	24
負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	105,605	105,605	105,605	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	155	182	927	745
退職手当引当金繰入額	212	686	4,626	3,940
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	199,769	200,940	213,784	12,844
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△191,131	△192,111	△206,820	△14,709
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△191,131	△192,111	△206,820	△14,709
一般財源充当額	85,487	86,063	96,446	10,384
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△105,644	△106,048	△110,374	△4,325

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	使用料収入額 6,518千円
物件費	指定管理委託料 89,515千円 建築物・建築設備定期点検委託料 336千円 トレーニング機器等更新 4,138千円
減価償却費	総合運動場 建物分

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	8,639	8,829	6,964	△1,865
行政サービス活動支出	94,125	94,892	103,410	8,519
行政サービス活動収支差額	△85,487	△86,063	△96,446	△10,384
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△85,487	△86,063	△96,446	△10,384
一般財源充当額	85,487	86,063	96,446	10,384
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	平成26年度	113,415人	1,761円	総合運動場の利用者1人あたり、1,830円のコストがかかっています。
	平成27年度	109,628人	1,833円	
	平成28年度	116,804人	1,830円	
開場1日あたりのコスト	平成26年度	359日	556,460円	総合運動場の1日あたり、595,499円のコストがかかっています。
	平成27年度	359日	559,721円	
	平成28年度	359日	595,499円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	182	927	745
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	182	927	745
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	12,004,713	11,899,108	△105,605	その他流動負債	-	-	-
土地	9,396,024	9,396,024	-	固定負債	2,382	6,406	4,024
建物・工作物	2,608,689	2,503,084	△105,605	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	2,382	6,406	4,024
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	2,564	7,333	4,769
土地	-	-	-	純資産	12,019,578	11,909,205	△110,374
建物・工作物	-	-	-	重要物品	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	17,430	17,430	-	投資その他の資産	-	-	-
図書館資料	-	-	-	出資金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
出資金	-	-	-	基金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
基金	-	-	-	その他債権	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	資産の部合計	12,022,143	11,916,538	△105,605
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	12,022,143	11,916,538	△105,605

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

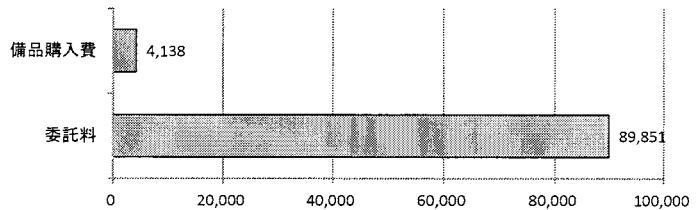
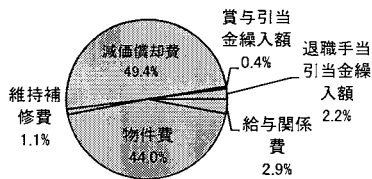
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事日数	実人数	
	0.92 人	人	日	人	11,784
給与関係費等	11,784 千円	千円	千円	千円	11,784
内、時間外勤務手当	46 千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	減価償却による減
土地	総合運動場
重要物品	絵画3点

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立総合運動場
取得年月日	平成6年(1994年)5月15日(供用開始)
建物・工作物の取得価額	4,923,190 千円
建物・工作物の減価償却累計額	2,420,106 千円
利用料金収入	6,518 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		-	0.0	0.0	0.0
施設老朽化比率		44.9	47.0	49.2	2.2
受益者負担比率		4.2	4.3	3.0	△1.3
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		90.8	90.7	93.3	2.6
経常費用対公共資産比率		4.1	4.1	4.3	0.2

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

IV 総括

▽分析結果の説明

【貸借対照表】
 ・既存施設の老朽化が49.2%と2.2ポイント進行しました。
 【行政コスト計算書】
 ・コスト全体の44%を物件費が占め、そのうち指定管理委託料が95.2%占めています。また、減価償却費がコスト全体の49.4%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

・総合運動場は、平成23年度(2011年度)より指定管理者制度を導入しています。
 平成28年度(2016年度)から5年間、効率的かつ効果的な管理を図るため、吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービスクループを新しい指定管理者として管理運営を行います。
 ・指定管理者により券売機を設置することで、受付方法の簡素化を行い、市民の利便性の向上を図り大変喜ばれました。
 ・平成28年度はトレーニング機器(有酸素系マシン)8台を更新して、トレーニング室の充実を図るとともに、開場時間のなかでの低料金の時間制に料金改定を行い、市民にとっては使い勝手が良くなり、利用者増加につながりました。
 ・平成29年度(2017年度)は、管理棟中央監視設備改修工事(19,556千円)を行う予定です。
 ・今後は、老朽化の著しいフィールドやトラックの改修に向けて、市の方針を決定し、計画的に改修を行う必要があります。
 また、効率的、有効的な活用ができるようハード面・ソフト面の両面から検討していきたい。